

専門科目(文学分野)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|-----------------|----------------------------|---|--|
| 02DS103 | 総合文学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木6 | 1B401 | 青柳 悦子, 加藤 百合, 齋藤 一, 吉原 ゆかり | 多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS104 | 総合文学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木6 | 1B401 | 青柳 悦子, 加藤 百合, 齋藤 一, 吉原 ゆかり | 春学期に継続して、多様な素材と地域を対象に文学の総合的研究方法を発表形式で身につける。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS113 | 文学理論研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 人社 A202 | 青柳 悦子 | 文学理論を基礎として、博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS114 | 文学理論研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火5 | 人社 A202 | 青柳 悦子 | 春学期に継続して、文学理論を基礎としながら博士論文執筆をめざした文学研究法を精錬する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS133 | 文学文化論研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月3 | 人社 A510 | 齋藤 一 | 欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。 | 中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS134 | 文学文化論研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月3 | 人社 A510 | 齋藤 一 | 欧米の重要な批評書を輪読する。批評書が論じている可能な限り作品も読む。なお、日本語訳を使用するが、必要に応じて原典も参照する。 | 中間評価論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS143 | 文学文化論演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月6 | 人社 A510 | 齋藤 一 | 最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。 | 博士論文の執筆を目指している学生向けの授業とする。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS144 | 文学文化論演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月4 | 人社 A510 | 齋藤 一 | 最新の批評理論を知る上で必要不可欠な著作をとりあげ輪読する。日本語訳を主に使用するが、必要に応じて原典も参照する。 | 博士論文の執筆を目指す学生向けの授業とする。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS153 | 文学交流論研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月2 | 人社 A201 | 吉原 ゆかり | Readings in academic articles about Japanese culture and literature written in English. | 英語を併用する We read articles written in English and class is conducted by both in Japanese and English. 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS154 | 文学交流論研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月2 | 人社 A201 | 吉原 ゆかり | Readings in academic writings on critical theories on Japanese literature and culture in English. | 英語を併用する We read articles and books written in English and class is given both in Japanese and English. 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS163 | 文学交流論演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火3 | 人社 A201 | 吉原 ゆかり | Readings in literatures written in Japanese. | 日本語を併用する We read Japanese literatures in original Japanese, and class is given both in English and Japanese. 2017年度より4年おき開講。英語で授業。 |
| 02DS164 | 文学交流論演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火3 | 人社 A201 | 吉原 ゆかり | Close and analytical readings in literatures written in Japanese. | 日本語を併用する。We read literature written in Japanese in their originals, and class is conducted both in Japanese and English. 2017年度より4年おき開講。英語で授業。 |
| 02DS172 | 比較文学研究(2) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木2 | 人社 A206 | 加藤 百合 | 明治時代の文学状況を比較文学的に捉える。初出(当時のかたち)テキストを読む訓練をおこなう。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS177 | 比較文学演習(2) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木2 | 人社 A206 | 加藤 百合 | 演習形式とし、各自の研究対象とするテキストを周辺の文献と併せて読み、その同時代的評価および現在から振り返っての評価を試みる訓練を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS205 | 西洋古典学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金5 | 人社 A508 | 秋山 学 | ギリシア語論文研究。古典ギリシア語による演習。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS206 | 西洋古典学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金5 | 人社 A508 | 秋山 学 | 前期の継続。古典ギリシア語論文研究。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS215 | 西洋古典学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金3 | 人社 A508 | 秋山 学 | 中世スコラ哲学テキスト研究。ラテン語による講読。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS216 | 西洋古典学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金3 | 人社 A508 | 秋山 学 | Continuation of the First Semester. 前期の継続。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS225 | 古典古代学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 応談 | 人社 A508 | 秋山 学 | イタリア語文献講読。古典古代(または美術史)学の論文を読む。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS226 | 古典古代学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 応談 | 人社 A508 | 秋山 学 | 前期の継続。イタリア語文献講読。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS235 | 古典古代学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 応談 | 人社 A508 | 秋山 学 | 比較対照言語学研究。ハンガリー語・日本語対照文法・翻訳論研究。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS236 | 古典古代学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 応談 | 人社 A508 | 秋山 学 | 前期の継続。ハンガリー語・日本語対照文法研究。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS245 | 古典古代学特殊研究I(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 応談 | 人社 A508 | 秋山 学, 池田 潤 | 聖書学を中心とした演習。受講者による発表形式。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS246 | 古典古代学特殊研究I(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 応談 | 人社 A508 | 秋山 学, 池田 潤 | 前期の継続。口頭発表練習。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS303 | 日本文学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 初日4月11日は人社 A201 | 本井 牧子 | 筑波大学に所蔵される版本の書誌調査を通じて、文学史の基礎を学ぶ。 | 初日4月11日は人社A201にて行う。その後図書館にて講義する。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS304 | 日本文学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火5 | | 本井 牧子 | 筑波大学所蔵の版本について解題を作成する。 | 図書館にて講義する。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS313 | 和漢比較文学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火4 | 人社 A620 | 谷口 孝介 | 『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本を徹底的に読解し、訓点や声点などに注目して、博士家を中心とした日本人の『白氏文集』受容の実態を照らし出すことを目指す。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS314 | 和漢比較文学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火4 | 人社 A620 | 谷口 孝介 | 『白氏文集』巻六閑適詩の注解を行う。日本所在の旧鈔本である金沢文庫本に基づきつつ、主要諸本と比較対照することから、白居易独自の閑適詩の表現を吟味する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS323 | 日本古代文学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火2 | 人社 A620 | 谷口 孝介 | 前時代の要素を取り入れたつづ古今歌風を形成した、素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。詩的言語の注解方法に習熟するとともに『万葉集』から『古今和歌集』に到る古代和歌の表現形成を探究する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS324 | 日本古代文学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火2 | 人社 A620 | 谷口 孝介 | 素性の古今集歌を逐一取りあげて注解を施す。とくに諸本の異同に注目することで、古今集歌表現の機微を探究する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS343 | 日本中古文研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木2 | 人社 A207 | 吉森 佳奈子 | 『源氏物語』注釈史研究。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS344 | 日本中古文研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木2 | 人社 A207 | 吉森 佳奈子 | 『源氏物語』注釈所引の歴史記述にかんする研究。 | 2017年度より4年おき開講。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------------|------|-----|--------|------|-----|--------|-----------|--|---------------------------------|
| 02DS353 | 日本中古文学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木6 | 人社A201 | 吉森 佳奈子 | 『源氏物語』紅葉賀巻、花宴巻との関連を考えながらよむ。 | 2017年度より4年おき開講。01B4518と同一。 |
| 02DS354 | 日本中古文学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木6 | 人社A201 | 吉森 佳奈子 | 『源氏物語』紅葉賀巻、花宴巻をよむ。 | 2017年度より4年おき開講。01B4519と同一。 |
| 02DS383 | 日本近世文学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月4 | 人社A604 | 清登 典子 | 原本の出現した『夜半亭蕪村句集』に見える新出句のうち春の発句について、一句一句詳しい検討を加えて解釈していく。受講生の発表と討議に基づいて授業を進めていく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS384 | 日本近世文学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月4 | 人社A604 | 清登 典子 | 原本の出現した『夜半亭蕪村句集』に見える新出句のうち夏・秋の発句について、一句一句詳しい検討を加えて解釈していく。受講生の発表と討議に基づいて授業を進めていく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS393 | 日本近世文学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月3 | 人社A604 | 清登 典子 | 近世文学についてのこれまでの研究の流れと現在の研究動向とを踏まえたうえで、受講生それぞれが自身の研究の立ち位置と向かうべき方向とを見定め、研究テーマについて発表し、他の受講生からの疑問、批判を受けることで、考えを深めていく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS394 | 日本近世文学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月3 | 人社A604 | 清登 典子 | 近世文学研究のこれまでの流れと現在の研究動向とを踏まえたうえで、受講生それぞれが自身の研究テーマについて発表し、他の受講生からの批判、疑問を受けることで、自身の考えを深めていく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS403 | 日本近代文学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木3 | 人社A202 | 馬場 美佳 | 明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。 | 2017年度より4年おき開講。01B4369と同一。 |
| 02DS404 | 日本近代文学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木3 | 人社A202 | 馬場 美佳 | 明治・大正期を中心に、日本近代文学研究の基礎力・応用力を涵養する。 | 2017年度より4年おき開講。01B4370と同一。 |
| 02DS413 | 日本近代文学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木4 | 1B310 | 馬場 美佳 | 各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS414 | 日本近代文学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木4 | 1B310 | 馬場 美佳 | 各自の研究計画に従って作品を選び研究発表を行うこととする。作品解釈を通して研究方法および論文のテーマを明確にすることを旨とする。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS503 | イギリス文学史研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 人社A617 | 佐野 隆弥 | 初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期悲劇を中心に、基礎的読解と議論を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS504 | イギリス文学史研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火5 | 人社A617 | 佐野 隆弥 | 初期近代戯曲研究。シェイクスピアの中期悲劇を中心に、分析的読解と論文作成を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS513 | イギリス文学史演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火1 | 人社A617 | 佐野 隆弥 | 初期近代英詩研究。17世紀の形而上派詩人を中心に、基礎的読解と議論を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS514 | イギリス文学史演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火1 | 人社A617 | 佐野 隆弥 | 初期近代英詩研究。17世紀の形而上派詩人を中心に、分析的読解と論文作成を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS603 | アメリカ文学史研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火3 | 人社B505 | 宮本 陽一郎(非) | 「家族」という概念が、ただちにヘテロセクシュアルな核家族を意味することがなく、多様なインティマシーをも含意するようになった21世紀の現在から振り返り、アメリカ文学における家庭の表象について、ジェンダー・セクシュアリティ・婚姻制度の観点から論じる。カルチュラル・スタディーズ、ジェンダー・スタディーズ、クイア・スタディーズの理論と方法を踏まえ、文学作品のみならず多様な文化テクストの分析に応用する能力を身につける。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS604 | アメリカ文学史研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火3 | 人社B505 | 宮本 陽一郎(非) | 「家族」という概念が、ただちにヘテロセクシュアルな核家族を意味することがなく、多様なインティマシーをも含意するようになった21世紀の現在から振り返り、アメリカ文学における家庭の表象について、母性・育児・家事・教育の観点から論じる。履修者は、中間評価論文・博士論文の予稿について発表を行い、自らの研究の意義を異なる研究対象をもつ開き手／読み手に伝える能力、および異なる領域の研究から知見を得る能力を身につける。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS623 | アメリカ文学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水3 | 人社A509 | 齋津 浩子 | 知識史の基本文献を読む。今年度は、西洋知識史を読む。 | 授業は日本語と英語の両方で行う。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS624 | アメリカ文学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水3 | 人社A509 | 齋津 浩子 | 知識史の基本文献を読む。今年度は、西洋知識史を扱う。 | 授業は日本語と英語の両方で行う。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS633 | アメリカ文学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水2 | 人社A509 | 齋津 浩子 | 南北戦争前アメリカ散文における〈知識の枠組み〉についての基本文献を読み、院生ひとりひとりの専門と関連付けて考えたものを発表する。 | 授業は日本語と英語の両方で行う。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS634 | アメリカ文学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水2 | 人社A509 | 齋津 浩子 | 南北戦争前アメリカ散文における〈知識の枠組み〉についての基本文献を読み、院生ひとりひとりの専門と関連付けて考えたものを発表する。 | 授業は日本語と英語の両方で行う。2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS703 | フランス文学史研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木4 | 人社B410 | 増尾 弘美 | 第1次世界大戦前後のフランスの状況下での小説について考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS704 | フランス文学史研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木4 | 人社B410 | 増尾 弘美 | 第1次世界大戦前後のフランスの状況下でのユダヤ人問題、スノビズム等について小説をもとに考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS713 | フランス文学研究I(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水2 | 人社B505 | 小川 美登里 | 文学と文学を取り巻くさまざまなテーマを、テキストの精読や分析をおして行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS714 | フランス文学研究I(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水2 | 人社B505 | 小川 美登里 | 文学と文学を取り巻くさまざまなテーマを、テキストの精読や分析をおして行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS723 | フランス文学研究II(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木3 | 人社B410 | 増尾 弘美 | 受講生の学位論文執筆に資する文学作品を講読し考察する。研究発表も適宜行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS724 | フランス文学研究II(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木3 | 人社B410 | 増尾 弘美 | 受講生の学位論文執筆に資する研究論文を講読し考察する。研究発表も適宜行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS733 | フランス文学特殊研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水1 | 人社A205 | 小川 美登里 | フランス文学史において二十世紀以降の文学の動向を、思想や文化の流れに沿って理解する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS734 | フランス文学特殊研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水1 | 人社A205 | 小川 美登里 | フランス文学史において二十世紀以降の文学の動向を、思想や文化の流れに沿って理解する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS803 | ドイツ文学研究I(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 人社A705 | 相澤 啓一 | 受講生の関心に応じてテーマを設定し、関連テクストの分析やその社会的歴史的背景を論じ、論文執筆の指導を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|--------|---------------|---|--------------------------------|
| 02DS804 | ドイツ文学研究I(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火5 | 人社A705 | 相澤 啓一 | 受講生の関心に応じてテーマを設定し、関連テキストの分析やその社会的歴史的背景を論ずる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS823 | ドイツ文学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月4 | 人社A207 | 相澤 啓一 | 日独両言語での読解力、発信力を高めることを目的に、両言語による人文・社会系の多様な学術テキストを扱う。特に独→日方向の理解に比重を置く。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS824 | ドイツ文学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月5 | 人社A207 | 相澤 啓一 | 日独両言語での読解力、発信力を高めることを目的に、両言語による人文・社会系の多様な学術テキストを扱う。特に日→独方向の理解に比重を置く。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS903 | 中国文学史研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木4 | 人社A620 | 小松 建男 | 田曉菲『塵机録:陶淵明与手抄本文化研究』(中華書局2007)を第二章まで読む。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS904 | 中国文学史研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木4 | 人社A620 | 小松 建男 | 田曉菲『塵机録:陶淵明与手抄本文化研究』(中華書局2007)を第三章から第五章まで読む。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS913 | 中国文学史演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火3 | 人社A620 | 小松 建男 | 杜甫の詩を森槐南『杜詩講義』を参考にしながら読む。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4546と同一。 |
| 02DS914 | 中国文学史演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火3 | 人社A620 | 小松 建男 | 杜甫の詩を諸注釈を参照しながら読む。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4547と同一。 |
| 02DS923 | 中国文学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木5 | 人社A620 | 稀代 麻也子 | 「謝僕射(遊覽)混」(嶺嶺)を読む。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS924 | 中国文学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木5 | 人社A620 | 稀代 麻也子 | 「謝僕射(遊覽)混」(景韻)を読む。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS933 | 中国文学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 人社A620 | 稀代 麻也子 | 『芸文精聚』巻36「隠逸」に引かれる詩のうち、魏の阮瑀の作から読む。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4536と同一。 |
| 02DS934 | 中国文学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火5 | 人社A620 | 稀代 麻也子 | 『芸文精聚』巻36「隠逸」に引かれる詩のうち、梁の劉孝標の作から読む。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4537と同一。 |
| 02DS943 | 中国文学特講(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木6 | 人社A620 | 小松 建男, 稀代 麻也子 | 各受講者が、先行研究との関連性を明確にしつつ自分の研究方法について簡潔にまとめ、今後の展望を提示する。提示に基づき、受講者全員で討論する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DS944 | 中国文学特講(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木6 | 人社A620 | 小松 建男, 稀代 麻也子 | 各受講者が、学界の最新の動向に対する見解を簡潔にまとめ、自分の最新の研究について報告する。報告に基づき、受講者全員で討論する。 | 2017年度より4年おき開講。 |

専門科目(言語学分野)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|---------------|------|-----|--------|------|-------|--------|---|---|---|
| 02DT103 | 一般言語学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 応談 | | 池田 潤, 臼山 利信, 金 仁和, 池田 晋 | 指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマを一般言語学的視座に位置づけることを目指す。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT104 | 一般言語学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 応談 | | 池田 潤, 臼山 利信, 金 仁和, 池田 晋 | 指導教員による研究指導をふまえ、専門の異なる複数の担当教員の前で研究発表を行う。これにより、自分の研究テーマをさらに掘り下げることを目指す。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT113 | 一般言語学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木6 | 人社A207 | 池田 潤 | 受講者の関心をふまえて一般言語学に関する論文を選び、演習形式で講読する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT114 | 一般言語学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木6 | 人社A207 | 池田 潤 | 一般言語学に関する論文の購読を継続する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT123 | 一般言語学特講A(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水2 | 人社A207 | 臼山 利信 | 多民族国家ロシアの言語状況・言語政策などについて、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT124 | 一般言語学特講A(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水2 | 人社A207 | 臼山 利信 | 多民族国家ロシアの言語状況・言語政策などについて、国内外の優れた研究成果に基づいて検討・考察する。内容は前年度と異なる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT133 | 一般言語学特講B(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木2 | 人社A514 | 金 仁和 | 韓・日両言語における文構造を対照する。意味が多重に解釈できる文の構造を中心とする。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT134 | 一般言語学特講B(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木2 | 人社A514 | 金 仁和 | 韓・日両言語における文構造を対照する。倒置・省略文の構造を中心とする。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT173 | 中国語学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木4 | 人社B501 | 池田 晋 | 中国語の情報構造をテーマとして、関連する文献を読み、基礎的な概念について理解を深め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT174 | 中国語学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木4 | 人社B501 | 池田 晋 | 中国語の情報構造をテーマとして、関連する文献を読み、最新の研究動向に対する理解を深め、問題点について受講者全員で議論をおこなう。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT201 | 応用言語学基礎論A | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水5,6 | 人社A201 | 一三三 朋子, 石田プリシラ アン, 澤田 浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛, 宮本 エジソン 正 | 応用言語学において基盤となるものの見方や考え方を、講義を通して深めていく。 | |
| 02DT202 | 応用言語学基礎論B | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 随時 | | 一三三 朋子, 石田プリシラ アン, 澤田 浩子, 杉本 武, 竹沢 幸一, 沼田 善子, 松崎 寛, 宮本 エジソン 正 | 応用言語学において基盤となるものの見方や考え方を、議論を通して深めていく。 | |
| 02DT205 | 応用言語学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火3 | 26301 | 宮本 エジソン 正 | This is a class in experimental psycholinguistics. Students are required to design and prepare an experiment measuring reaction times. | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT206 | 応用言語学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火3 応談 | | 宮本 エジソン 正 | Students will collect data for the psycholinguistics experiment prepared in the first semester, analyze and discuss the results, and propose follow-up experiments. | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT225 | 応用言語学論文演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水2 | 人社A206 | 石田 プリシラ アン | This seminar will address the role of formulaic sequences in language acquisition and use. The aim is for students to gain an understanding of current issues and methodologies in this area, as well as an understanding of how research in this area has developed over time. | 2017年度より4年おき開講。 英語で授業。 日本語の論文を扱う場合は発表とディスカッションの使用言語は日本語とする。 |
| 02DT226 | 応用言語学論文演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水2 | 人社A206 | 石田 プリシラ アン | This seminar will address the role of formulaic sequences in language acquisition and use. Students will be required to conduct an independent research project on a course-related topic of their choice. | 2017年度より4年おき開講。 英語で授業。 参加条件として、「応用言語学論文演習(2A)」を受講していることが望ましい。研究プロジェクトの使用言語は英語または日本語とする。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------|--------|-----------------------|--|--------------------------------|
| 02DT235 | 日本語教育学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金4 | 人社A201 | 松崎 寛 | 日本語教育学分野の論文講読を通じ、クリティカルに物事を捉える基礎的な力を身につける。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT236 | 日本語教育学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金4 | 人社A201 | 松崎 寛 | 日本語教育方法の改善に役立つ論文を取り上げ、方法論上の問題点や、推論の妥当性を検討する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT245 | 日本語教育学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金3 | 人社A201 | 一二三 朋子 | 統計を使った日本語教育の論文を精読し、論文内の統計用語の知識を習得する。 | 演習形式。 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT246 | 日本語教育学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金3集中 | 人社A201 | 一二三 朋子 | 春学期に学んだ統計を実践的に身につけるために、実際に調査を行い、統計ソフトを使った分析の実習を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT255 | 日本語構造論研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金2 | 1B204 | 杉本 武 | 記述的研究の立場から現代日本語の動詞の構文の分析を行いながら、記述的研究のあるべき姿を考える。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT256 | 日本語構造論研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金2 | 人社A207 | 杉本 武 | コーパスを用いた言語研究の手法を学び、現代日本語の文法の分析を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT265 | 日本語構造論演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木5 | 人社A207 | 沼田 善子 | 現代日本文法の諸現象のうち、「とりたて」に関する現象を取り上げて考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT266 | 日本語構造論演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木5 | 人社A207 | 沼田 善子 | 現代日本語における「とりたて」に関わる種々の表現を取り上げ、受講者の発表とそれに対する討論を通じ、主に文法の観点から考察する。ここでの考察は、他言語との比較対照もできる限り交えながら、日本語教育等への応用を視野に入れて進める。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT275 | 対照言語学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 人社A207 | 澤田 浩子 | 対照言語学的視点から、文法・談話に関する現象を取り上げ、記述・分析を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT276 | 対照言語学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 人社A207 | 澤田 浩子 | 文法・談話の両領域に関する現象の記述をもとに、言語行動、発語行為について考察を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT285 | 対照言語学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月5 | 人社A205 | 竹沢 幸一 | 形態論・統語論の言語間比較・対照のための方法論を学ぶ。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT286 | 対照言語学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月5 | 人社A205 | 竹沢 幸一 | 日本語を中心に言語間の比較・対照を行いながら、人間言語の文法の個別性と普遍性について記述的及び理論的に考察を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT403 | 日本語音韻研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金5 | 人社A620 | 那須 昭夫 | 音声資料の分析と記述を実践し、近年の日本語に生じつつある音調変異の実態と特性について考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4347と同一。 |
| 02DT404 | 日本語音韻研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金5 | 人社A620 | 那須 昭夫 | 音声資料に基づいて構築したデータを分析し、音調変異現象の諸特性について多角的な検討と考察を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4348と同一。 |
| 02DT413 | 日本語文法研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火3 | 人社A206 | 橋本 修 | 日本語の意味論・語用論的研究の方法論について、具体的なケースワークの中で検討する。受講者の希望にもよるが、導入としては本多啓2016と関連論文を読む。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT414 | 日本語文法研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火3 | 人社A206 | 橋本 修 | 古典日本語を含む、日本語文法論の検討。受講者の希望にもよるが、導入としては金水2015とその周辺論文を読む。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT433 | 日本語史料研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火4 | 人社A207 | 大倉 浩 | 中世から近世への日本語史料として、狂言語台本の位置づけを考える。その手がかりとして享保15年刊『狂言記拾遺』巻五を読む。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4506と同一。 |
| 02DT434 | 日本語史料研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火4 | 人社A207 | 大倉 浩 | 『狂言記拾遺』巻五の曲と残された諸流の狂言台本との間で筋立てや用語を中心に比較する。また、現在の舞台の映像も参考に、狂言用語の変容について考える。 | 2017年度より4年おき開講。 01B4507と同一。 |
| 02DT443 | 現代日本語研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水3 | 人社A207 | 矢澤 真人 | 現代日本語について、さまざまな角度から検討を加える。この授業は、言語学的な追求とともに、それが現在の社会的な課題を解決するのにどのように寄与するのかについての検討も行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT444 | 現代日本語研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水3 | 人社A207 | 矢澤 真人 | 現代日本語について、さまざまな角度から検討を加える。表現や理解に関わる複合的な現象について、日本語学の観点から検討する。この授業では、従来の言語学的知見が、このような課題に対してどのように寄与するか、また、解決のためにはどのような研究が望まれているのか等、複合的融合的課題を解決するための言語学的アプローチとは何かを考えていく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT453 | 日本語学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木6 | 人社A202 | 橋本 修、矢澤 真人、大倉 浩、那須 昭夫 | 日本語学領域における最新動向を踏まえたオリジナル研究を目指して発表、討論を行う。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT454 | 日本語学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木6 | 人社A202 | 橋本 修、那須 昭夫、矢澤 真人、大倉 浩 | 対照研究・社会言語学的研究を含めた日本語学のオリジナル発表および検討。あわせて周辺領域への情報提示、広報技術の向上を図る。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT503 | 認知意味論(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月3 | 人社A207 | 和田 尚明、廣瀬 幸生 | 言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、形式主語の意味機能と認知の関係に焦点をあてる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT504 | 認知意味論(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月3 | 人社A207 | 和田 尚明、廣瀬 幸生 | 言語の形式と意味の対応関係にかかわる問題について、英語と日本語を比較対照しながら考察し、しかるべき言語記述のあり方について考える。主として、話し手に基づいた言語現象に焦点をあてる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT513 | 生成統語論(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月4 | 人社A205 | 加賀 信広 | 英語を中心いくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として投射とラベリングに関する問題に焦点をあてる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT514 | 生成統語論(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月4 | 人社A205 | 加賀 信広、島田 雅晴 | 英語を中心いくつかの文法現象を取り上げながら、生成統語論における研究の目的および手法を確認し、今後の発展の可能性を探る。主として併合と内心構造に関する問題に焦点をあてる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT523 | 英語意味論演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木4 | 人社A206 | 廣瀬 幸生、和田 尚明、金谷 優 | 認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、語用論・機能論の論文を中心に挙げる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT524 | 英語意味論演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木4 | 人社A206 | 廣瀬 幸生、和田 尚明、金谷 優 | 認知言語学・語用論研究・機能論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、認知言語学の論文を中心に挙げる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT533 | 英語統語論演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木5 | 人社A206 | 島田 雅晴、加賀 信広 | 生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、併合に関する論文を中心に挙げる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT534 | 英語統語論演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木5 | 人社A206 | 島田 雅晴、加賀 信広 | 生成文法・統語論研究・形態論研究など、現代英語をめぐる様々なアプローチの研究動向を探る。最新の言語学専門誌・論文集から選んだ論文をもとにした発表と討論を行なう。特に、ラベリングに関する論文を中心に挙げる。 | 2017年度より4年おき開講。 |

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時間 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|-----|--------|-------|--|--------------------------------|
| 02DT543 | 英語学特講(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 木3 | 人社A206 | 金谷 優 | 英語学研究を進めるうえで必要な基礎知識、英語表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。特に、基礎力の充実および実践的な発信力の強化を図る。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT544 | 英語学特講(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 木3 | 人社A206 | 金谷 優 | 英語で書かれた認知言語学の文献の輪読を通して、修士論文執筆前の院生が、英語学研究を進めるうえで必要な言語学的知識、英語の読解力・表現力、言語分析力、論理的・批判的思考力などを養成する。 | 2017年度より4年おき開講。 01B8323と同一。 |
| 02DT603 | フランス語学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月5 | 人社B511 | 青木 三郎 | グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、個別のテーマについて考察を進める。日本語とフランス語使用 | 2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。 |
| 02DT604 | フランス語学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月5 | 人社B511 | 青木 三郎 | グローバル社会における現代フランス語研究の意義を明確にし、個別のテーマについて考察を進める。日本語とフランス語使用 | 2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。 |
| 02DT613 | フランス語学演習(2A) | 2 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 月6 | 人社B511 | 青木 三郎 | フランス語の観察を通じて、文法カテゴリーの諸相について具体的な分析を行う。日本語とフランス語使用 | 2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。 |
| 02DT614 | フランス語学演習(2B) | 2 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 月6 | 人社B511 | 青木 三郎 | フランス語の観察を通じて、文法カテゴリーの諸相について具体的な分析を行う。日本語とフランス語使用 | 2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。 |
| 02DT623 | フランス語意味論(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火4 | 人社B505 | 渡邊 淳也 | フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、フランス語の語彙意味論に重点をおく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT624 | フランス語意味論(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火4 | 人社B505 | 渡邊 淳也 | フランス語意味論の個別の問題について考察する。この学期はとくに、フランス語と日本語の語彙の対照研究に重点をおく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT633 | フランス語文法論(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火5 | 人社B505 | 渡邊 淳也 | フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、迂言的諸時制と、その基底となる動詞の文法化に重点をおく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT634 | フランス語文法論(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火5 | 人社B505 | 渡邊 淳也 | フランス語(および、他のロマンス諸語)における動詞の時制、叙法について研究する。この学期はとくに、フランス語の各叙法(ならびに他言語で対応する叙法)に重点をおく。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT643 | フランス語学特講(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水2 | 人社B408 | 木田 剛 | 「談話分析の実践研究」フランス語の談話構造を考察するために、メディアに現れるフランス語を観察しながら分析を試み、言語学者としての実践力を養う。 | 2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。 |
| 02DT644 | フランス語学特講(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水2 | 人社B408 | 木田 剛 | 「談話分析の理論研究」フランス語を中心に談話分析やテキストと言語学の基本文献に触れながら基本概念を学ぶと同時に、研究方法を考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 フランス語で授業。 |
| 02DT703 | ドイツ語学研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金4 | 人社B505 | 大矢 俊明 | 関連文献を読みながら、現代ドイツ語における統語論的現象について考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT704 | ドイツ語学研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金4 | 人社B505 | 大矢 俊明 | 関連文献を読みながら、現代ドイツ語と現代オランダ語における統語論的現象について考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT723 | ドイツ語意味論(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 火2 | 人社A610 | 伊藤 真 | ドイツ語と日本語の語彙をさまざまな観点から比較・対照する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT724 | ドイツ語意味論(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 火2 | 人社A610 | 伊藤 真 | ドイツ語と日本語の語彙と句をさまざまな観点から比較・対照する。あわせてドイツ語文法についても知識を深める。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT733 | ドイツ語文法論(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 金3 | 人社B505 | 大矢 俊明 | 英語やオランダ語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT734 | ドイツ語文法論(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 金3 | 人社B505 | 大矢 俊明 | 他のゲルマン諸語と比較しながら、現代ドイツ語の文法的特徴を考察する。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT743 | ドイツ語史研究(2A) | 1 | 1.5 | 1-5 | 春ABC | 水2 | 人社A610 | 伊藤 真 | 専門文献を精読しながら、文献精読能力の向上を図る。ドイツ語史を踏まえた高度な文法知識の習得にも力を入れる。 | 2017年度より4年おき開講。 |
| 02DT744 | ドイツ語史研究(2B) | 1 | 1.5 | 1-5 | 秋ABC | 水2 | 人社A610 | 伊藤 真 | 専門文献を精読する。教壇に立つことも想定し、ドイツ語史を踏まえた高度な文法知識の習得にも力を入れる。 | 2017年度より4年おき開講。 |